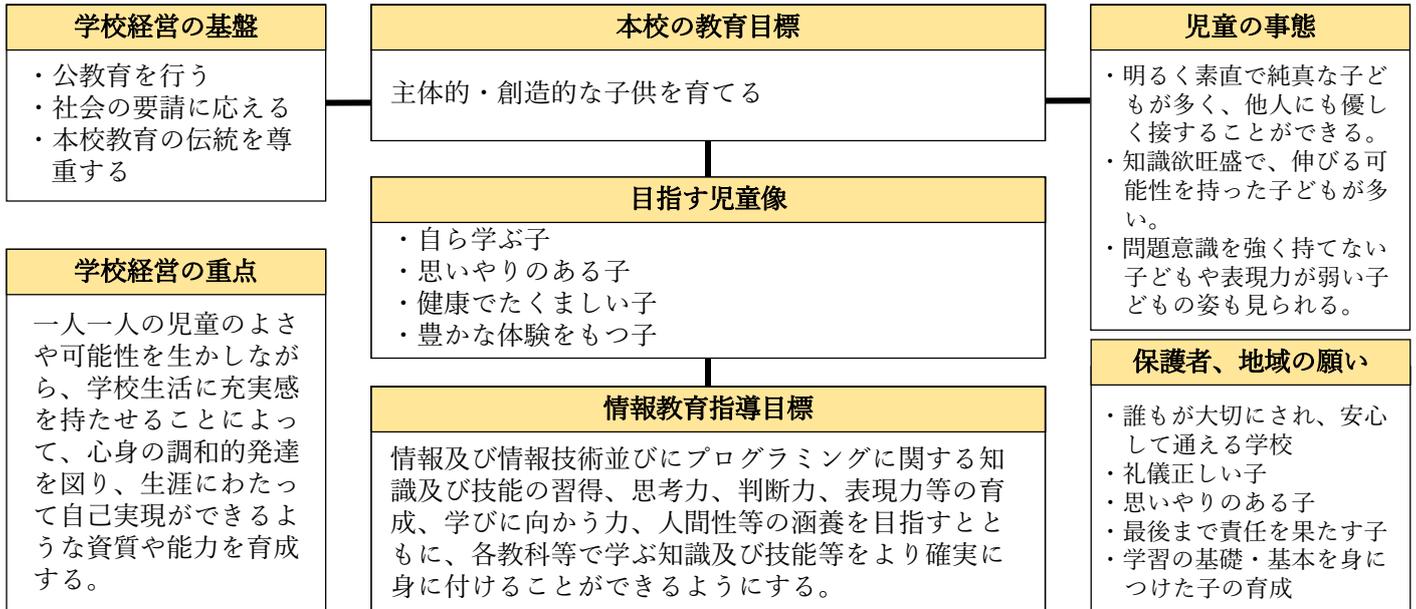


情報教育全体計画



<育成をめざす資質・能力>
 ※別紙「情報活用能力系統表」に記載

<関連する各教科等の力：「考えるための技法」を適宜活用・発揮しながら>					
国語科	社会科	算数科	理科	生活科	音楽科
○筋道を立てて考える力 ○情報活用に関する知識や技能 ○情報を多面的・多角的に精査し構造化する力 ○文や文章を整える力 ○情報を編集・操作する力 ○話や文章を構成する力など	○社会的事象に関する情報を適切に集める・読み取る・まとめる技能 ○思考・判断したことを適切に表現する力 ○社会に見られる課題を把握して、社会への関わり方を選択・判断する力 など	○日常の事象を数理的に表現・処理する技能 ○日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道立てて考察する力 ○数学的に考えることや数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に生かそうとする態度 など	○自然事象に対する基本的な概念や性質・規則性の理解 ○事象を比較、関係付け、条件制御、多面的に考え捉える力 ○根拠に基づき判断し表現する力 ○問題解決の過程に関してその妥当性を検討する態度 など	○比較・分類・関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える力 ○試したり、見立てたり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す力 ○伝えたり、振り返ったりして表現する力 など	○自分で音楽表現をしたり友達と一緒に音楽表現をしたり、自分の思いや意図を音楽で表現したりする力 ○音楽に関する知識や技能を活用して音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図を見出す力 など
図画工作科	家庭科	体育科	特別活動	外国語・外国語活動	総合的な学習の時間
○表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫して創造的につくったり表したりする技能 ○造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて創造的に発想や構想する力 ○つくりだす喜びを味わい、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度 など	○実習や観察・実験、調査、交流活動の結果等について、考察したことを根拠や理由を明確にして分かりやすく表現する力 ○日常の生活課題について様々な解決方法を構想し、実践を評価・改善し表現する力 など	○特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全についての理解 ○基本的な動きや動作に関する技能 ○自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断したことを他者に伝える力 など	○所属する多様な集団や自己の生活上の課題を見いだし、解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく構築したりする力 ○集団で活動する上での困難を乗り越えるためには何が必要かという理解	○コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、情報や考えなどを表現する力 ○身近で簡単な事柄について、音声で慣れ親しんだ語彙や基本的な表現を読んだり、語順を意識しながら書いたりして表現する基礎的な力 ○言語の働き、役割に関する理解 など	○課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える力 ○相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現する力 など

※情報機器の扱いや操作スキルを育成する時間を適切に確保するようにする。

<道徳教育及び道徳科との関連>

- ・道徳的価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるか判断する力（道徳的判断力）
- ・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情（道徳的心情）
- ・道徳的価値を実現しようとする意志の働き、行為への身構え（道徳的実践意欲と態度）
- ・情報モラルについての学習

<各団体等との関連・活用する情報機器等>

プログラミング教育支援員	地元企業・大学等	市民ボランティア	学校放送番組
タブレット端末	Artec Robo(アーテック・ロボ)	デジタルカメラ	デジタルビデオカメラ
			ICレコーダー

情報活用能力系統表

<育成をめざす資質・能力>

世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力（小学校学習指導要領解説 総則編）			
	低学年	中学年	高学年
A 知識及び技能	(ア) 図書から情報を集める (イ) 体験から情報を集める (ウ) 人に質問して情報を集める (エ) 実物を見たり触ったりするなどして情報を集める (オ) 手紙を書いて情報を集める (カ) 数を数えたり、計測したりして情報を集める (キ) デジタルカメラやタブレットなどで写真を撮影する (ク) 問題の解決には必要な手順があることが分かる	(ア) 様々な図書や辞書を使って情報を集める (イ) 準備をしてインタビューで情報を集める (ウ) 見学・実験・観察などで情報を集める (エ) インターネットで情報を集める (オ) アンケートを作成、回収して情報を集める (カ) 目的に応じて、タブレット等で写真を撮影する (キ) 資料から、必要な情報を見付ける (ク) 問題解決の手順はさまざまに工夫することができることが分かる (ケ) 身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付く	(ア) 目的に応じてICT機器を選択して情報を集める (イ) 電子メールで情報を集める (ウ) 辞典等から情報を集める (エ) 新聞記事等から情報を集める (オ) 使用するICTの特性を生かしながら情報を集める (カ) 複数の資料から、目的に応じて特定の情報を見付ける (キ) 問題解決の手順を論理的に組み立てることのよさが分かる (ク) 体験を通して、プログラムの働きやよさ、情報技術が社会を支えていることに気付く
	(発達段階に応じて) ○情報モラルや情報セキュリティに対する理解 ○身近な生活に情報機器が活用されていることへの気付き ○情報機器の名称や操作スキル（キーボードによる文字入力、インターネット検索の仕方、保存の仕方 など） ○問題の解決には必要な手順があることへの気付き		
B 思考力、判断力、表現力等	(ア) 絵や写真を並び替えるなどの操作をして情報を整理する (イ) 大切な言葉、文章を付箋やカードなどに書き出して整理する (ウ) 取り出した情報をもとに、図やグラフなどに整理する (エ) はじめ、中、おわりの構成を考えて伝えたいことをまとめる (オ) 絵や文章、写真などを組み合わせ、対応させながらまとめる (カ) 順序を表す言葉を用いてまとめる (キ) 実物を見せながら表現する (ク) 実物投影機などのICT機器を活用して表現する (ケ) 伝えたいことを明確にして、それを意識して表現する (コ) 事柄や意図する一連の活動の順序に沿って構成や組み合わせを考える	(ア) 集めた情報を適切な方法で蓄積する 集めた情報を分類したり、順番を付けたりして整理する (イ) 事実や他者の考えと自分の考え、分かっていることとたずねられていることなど、文章に書かれていることを分類して情報を整理する (ウ) 表やグラフに表して、情報を整理する (エ) 見付けた情報から、必要な情報を選択する (オ) 引用したり要約したりして情報をまとめる (カ) 大切な言葉や部分を強調してまとめる (キ) 大切な言葉や部分を強調して表現する (ク) 他者の意見と自分の意見を関連させながら表現する (ケ) 意図する一連の活動を実現するため、どのような動きの組み合わせが必要かを考える (コ) 内容の中心を明確にし、まとまりをつくったり、自分の考えと理由の関係を明確にしたりしてまとめる	(ア) 目的に応じて、見付けた情報や整理した情報を比較したり、分類したりする (イ) 問題の解決に必要な情報を、視点を定めて整理したり、多面的に検討したりする (ウ) 収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして、活用しやすいように情報を整理する (エ) 引用したり、実例を挙げたりして、根拠や理由を示してまとめる (オ) グラフや表を引用してまとめる (カ) 考えと根拠を区別してまとめる (キ) 相手の状況に応じて、表現方法を工夫する (ク) 意図する一連の活動を実現するため、動きの組み合わせや意図した活動に近づく改善策を考える
	(発達段階に応じて) ○情報モラルや情報セキュリティに対する理解 ○身近な生活に情報機器が活用されていることへの気付き ○情報機器の名称や操作スキル（キーボードによる文字入力、インターネット検索の仕方、保存の仕方 など） ○問題の解決には必要な手順があることへの気付き		
C 学びに向かう力、人間性等	(ア) 身の回りには間違っただけの情報やその情報があることを知り、それらを適切に取扱おうとする態度 (イ) 電話番号などの個人情報が悪用される危険性があることを知り、自分や他人の個人情報を大切に (ウ) 自分たちの身の回りの情報機器に親しみ、すすんで利用しようとする (エ) 友だちと協力して活動に取り組む	(ア) 個人情報の保護や著作権の尊重などの配慮が必要なことを理解し、それらを大切にしようとする態度 (イ) 情報モラルの大切さが分かり、発信する情報の適正さを考え行動しようとする態度 (ウ) 他人の情報の大切さが分かり、適切に取り扱おうとする態度 (エ) 身の回りにはさまざまな情報機器が利用されていることに気付くとともに、目的に応じて利用しようとする (オ) 課題の解決に向け、粘り強くやり抜こうとする	(ア) 電子メール・掲示板・SNS等の特性を理解し、適切に利用しようとする態度 (イ) 適切な情報モラルを身に付け、情報に対する責任について考え行動しようとする態度 (ウ) 他人の情報を大切に、適切に取り扱おうとする態度 (エ) 身の回りの情報機器を、問題の解決や意図、目的に応じて適切に利用しようとする (オ) 情報技術のよさや価値を社会や自らの将来に関連付けて考える
	(発達段階に応じて) ○情報モラルや情報セキュリティに対する理解 ○身近な生活に情報機器が活用されていることへの気付き ○情報機器の名称や操作スキル（キーボードによる文字入力、インターネット検索の仕方、保存の仕方 など） ○問題の解決には必要な手順があることへの気付き		
D 考えるための技法	【順序付ける】 複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える 【比較する】 複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする 【分類する】 複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる 【抽象化する（一般化する、統合する）】 対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする 【関連付ける】 複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける ある対象に関係するものを見付けて増やしていく 【多面的に見る・多角的に見る】 対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする 【具体化する（個別化する、分解する）】 対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする 【構造化する】 考えを構造的（網構造・層構造など）に整理する 【理由付ける（原因や根拠を見付ける）】 対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする 【見通す（結果を予想する）】 見通しを立てる。物事の結果を予想する ※発達段階に応じて活用したり、各教科等の学習において適切に発揮したりするようにする （詳細は小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編P80～）		
	(発達段階に応じて) ○情報モラルや情報セキュリティに対する理解 ○身近な生活に情報機器が活用されていることへの気付き ○情報機器の名称や操作スキル（キーボードによる文字入力、インターネット検索の仕方、保存の仕方 など） ○問題の解決には必要な手順があることへの気付き		